

特集 9月1日は防災の日

「その時」のために 今、備える

ある日突然身に降りかかる「災害」。地震・台風・豪雨・川の氾濫・土砂崩れ・落雷など挙げればきりがありません。

皆さまは、なぜ9月1日が防災の日であるかご存知ですか。9月1日は大正12年（1923年）に関東大震災が発生した日であるとともに、台風シーズンを迎える時期でもあります。昭和34年（1959年）9月26日の「伊勢湾台風」によって、戦後最大の被害を被ったことがきっかけ

となって、地震や風水害などについての認識を深め、対処する心構えを準備するため、防災の日が創設されました。9月1日の防災の日を含む1週間（8月30日～9月5日）を「防災週間」と定め、各関係機関が緊密な協力関係のもとに、防災意識普及のための行事や訓練を行っています。

ところで、「防災」とはどんな言葉の意味を持っているでしょうか。広辞苑には、「災害」を防止することと簡記されてい

ますが、災害対策基本法では、「災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、および災害の復旧を図ることをいう」と定義しています。

近年想定されている最大規模の地震となる南海トラフ巨大地震。やがて来る「その時」のため、防災の日をきっかけに非常用持ち出し袋の点検や家族との連絡方法や待ち合わせ場所、避難所や避難経路などを確認しておきましょう。

